



本社
島根県安来市恵乃島町 114-15
URL
<https://kiguchitech.co.jp/>

資本金 1,500万円
従業員 約200人
拠点 6拠点
代表者 代表取締役社長
木口 重樹

会員企業ファイル^{④6}

KIGUCHI TECHNICS INC.

キグチテクニクス

創業60周年を迎える 国内最大級の 独立試験所

我が社
の逸品



疲労試験機が並ぶ疲労試験棟



機械試験実施風景

起源は研磨業
2003年から試験専業へ

今年創業60周年を迎えるキグチテクニクスは、強度試験の分野で国内最大級の独立試験所として、航空・宇宙、自動車、エネルギー、医療分野などに使用される材料の品質・性能評価を行っている。研磨業を祖業に1961年に創業して以来、加工・試験部門と事業を拡大し、2003年に材料の試験片加工、試験を専門とする試験所として全国展開を開始した。

引張試験、疲労試験、クリープ試験などに関して、素材の切り出しから試験片加工、試験、レポート作成までを一貫して実施できることを強みとする。特に航空機業界の試験認定を多く取得するなど航空機分野で成長を遂げてきたが、近年は大手国内自動車メーカー向けなど自動車関連ビジネスが拡大している。

19年には米国市場での日本メーカー向けビジネス拠点と位置付けるキグチアメリカ（米国オハイオ州）を設立したほか、20年には東日本の顧客対応力向上を目的とした東京試験所（埼玉県桶川市）に加え、自動車業界でも軽量化素材として関心が

高まるCFRP（炭素繊維強化プラスチック）成形で自動車部品試作を行う名古屋コンポジットファクトリー（NCF）を相次いで設立し、事業拡大を加速させている。

同社は技術要求レベルが高い航空機業界ビジネスで成長したため、このノウハウを自動車向けビジネスでも生かせるのが特徴だ。自動車部品に使用される材料を評価するが、試験片レベルでの評価に止まらず、実際の部品形状で疲労試験などの評価が可能な点も強みだ。金属材料に加え、車体構造の軽量化に欠かせないCFRPなどの複合材の評価も実施している。

保有設備は、引張試験機20台、高温での材料特性を評価するクリープ試験機約350台、疲労試験機約80台など、国内試験所最大級の試験機をそろえている。

車両の電動化が加速する市場環境で、同社は電動化領域の評価試験への対応力向上を重視する。自社対応に加え、協力会社との提携も含めた評価ラインアップの充実を急ぐことで、自動車関連ビジネスの拡大を図る方針だ。